2026年度　第2四半期(中間期)

決算説明資料

三菱ガス化学株式会社

2026年11月10日

証券コード
4182



本日の決算説明のポイント

1. 2026年度 上期実績

		前年同期比
売上高	4,368億円	＋751億円
営業利益	494億円	＋243億円
親会社株主に帰属する中間純利益	354億円	＋633億円

売上高	＋	● メタノール、ポリカーボネート（PC）等での市況上昇及び原材料コスト増の価格転嫁 ● BT材料の販売数量増及び価格改定効果 ● 円安影響
営業利益	＋	● 上記に加え、メタノール、PC等での在庫受払差等による損益改善
中間純利益	＋	● 営業利益の増加 ● 前年同期に計上した減損損失の反動

※上期として営業利益、経常利益は過去最高値を更新

2. 2026年度 通期業績予想

		前回予想比
売上高	9,000億円	＋400億円
営業利益	810億円	＋100億円
親会社株主に帰属する当期純利益	650億円	＋100億円

売上高/営業利益	＋	● 原油価格やメタノール市況の高止まり ● PC等での価格転嫁による採算改善 ● 半導体向け薬液の販売数量増 ● BT材料の価格改定効果
配当方針	年間配当予定 110円（中間55円、期末55円） ※前回予想から変更なし。2025年度比年間10円の増配を予定	

中東情勢緊迫化による影響：

-メタノールのサウジアラビア拠点を除き、当社グループでの生産・販売への影響は軽微
-原燃料価格上昇により化学品を中心に製造コストは上昇も、速やかな価格転嫁で対応。下期においても原油・メタノール市況の高止まりを想定
-上期では顧客の要請に対するタイムリーな供給に取り組み、在庫受払差等の影響も加わり、損益が大きく改善

※ 本ページ以下に記載の数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示・一株当たり指標・業績前提は単位未満四捨五入で表記しております。

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

1 | 2026年度 上期 決算概要

2 | 2026年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

4 | トピックス 次期中計に向けて

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

1 | 2026年度 上期 決算概要

2 | 2026年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

4 | トピックス 次期中計に向けて

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

2026年度 上期決算 業績サマリー

売上高：中東情勢緊迫化に伴うメタノール市況上昇、電子材料の好調な販売に加え、円安の影響等により増収
営業利益：上記に加え、原燃料価格の上昇等に応じて速やかに価格転嫁を実行したことや在庫受払差等の影響により増益
経常利益：営業利益と持分法利益の増加により増益（持分法利益： JSPの好業績やメタノール市況上昇により増益）
中間純利益： 経常増益に加え、前年同期に計上した多額の減損損失の反動もあり、大幅に損益が改善、黒字化

単位：億円	2025年度 上期	2026年度 上期	増減 金額	増減 %	2026年度 上期 前回予想*
売上高	3,616	4,368	+751	+20.8	4,400
営業利益	251	494	+243	+96.7	410
持分法利益	29	66	+36	+123.9	34
経常利益	314	568	+253	+80.6	460
親会社株主に帰属する中間純利益	▲279	354	+633	-	310
					*2026年8月7日公表
一株当たり中間純利益（円/株）	▲143.48	181.81			158.98
為替レート（JPY/USD）	146	159			

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

2026年度 上期 営業外損益・特別損益

単位:億円	2025年度 上期	2026年度 上期	増 減
営業外損益	**63**	**73**	**+10**
持分法による投資損益	29	66	+36
金融収支	25	15	▲10
為替差損益	15	▲6	▲21
その他	▲7	▲0	+6
特別利益	**54**	**39**	**▲14**
投資有価証券売却益	10	23	+12
補助金収入	1	12	+10
貸倒引当金戻入額	-	2	+2
固定資産売却益	35	-	▲35
その他	6	-	▲6
特別損失	**▲510**	**▲55**	**+455**
建設工事中止に伴う損失	-	▲33	▲33
固定資産圧縮損	-	▲12	▲12
減損損失	▲502	▲3	+498
その他	▲8	▲5	+2
特別損益合計	**▲456**	**▲15**	**+440**

※ 本表の増減は対損益増減を示しております。

差異の内容

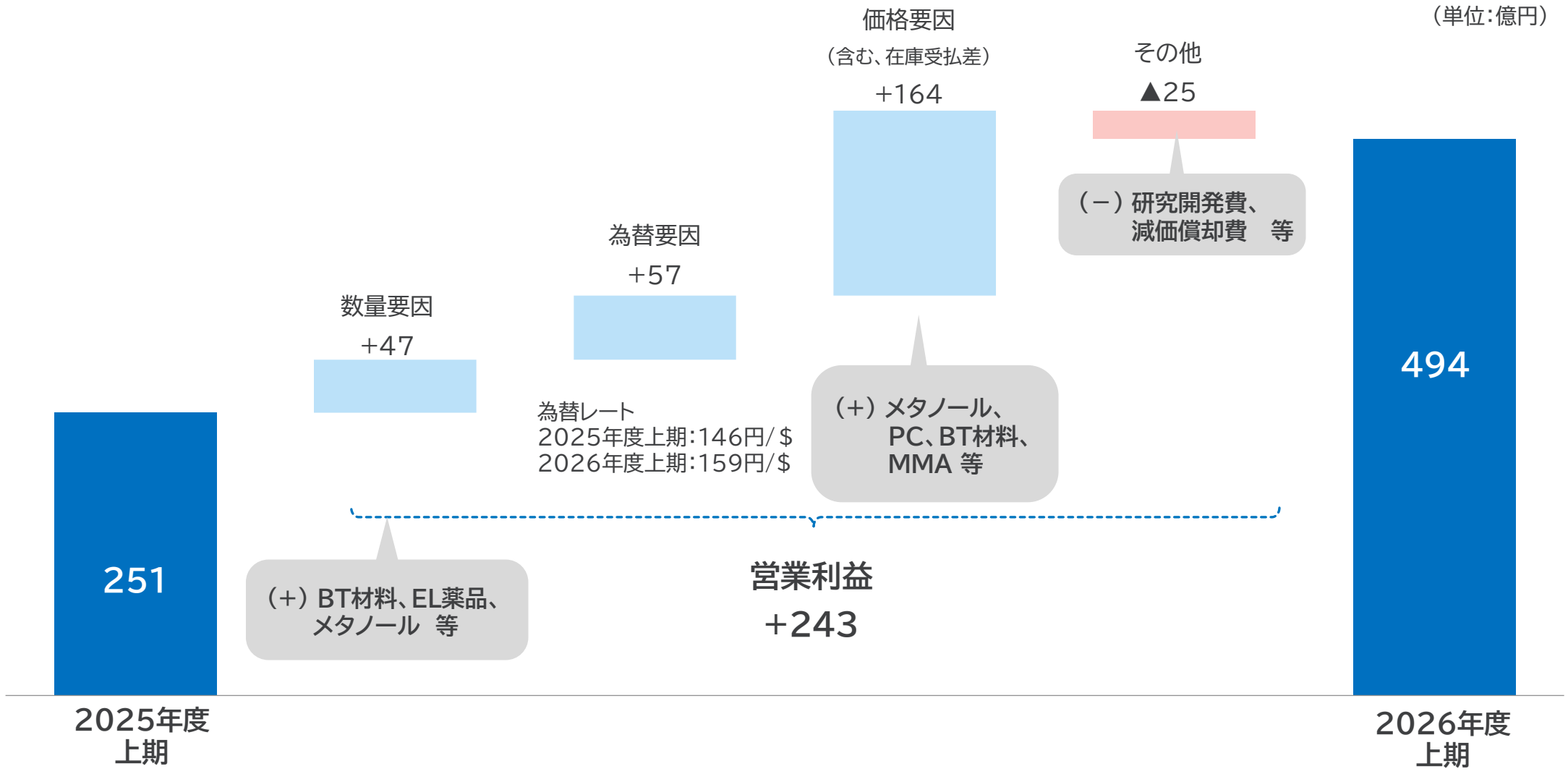
- **持分法損益**
  GEC　＋30
  機能化学品　＋6

差異の内容

- **建設工事中止に伴う損失　▲33**
  オランダMXDA製造子会社での契約解除等に伴う損失
- **減損損失　＋498**
  オランダMXDA製造子会社での減損の剥落　等

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

2026年度 上期 営業利益　増減要因(前年度比)



©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

1 | 2026年度 上期 決算概要

2 | 2026年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

4 | トピックス 次期中計に向けて

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

2026年度 通期 業績予想のポイント

- 対前回予想*1：売上高+400億円、営業利益+100億円、経常利益+170億円

  営業利益・持分法利益の主な増減要因

  （+）PC等の価格転嫁による採算改善、BT材料の価格改定効果
  （+）メタノール市況の上昇
  （+）半導体向け薬液の販売数量増加
  （−）円高
  （−）芳香族化学品（MXDA等）の販売数量減少及び原燃料価格上昇による採算悪化

- 期末配当予想：55円（前回予想*2を据え置き）

*1 2026年8月7日公表
*2 2026年5月13日公表

■為替前提（下期）：1ドル155円（前回予想から5円円高）、1ユーロ175円（前回予想から10円円高）
為替感応度（USD、概算）：1円の円高（円安）で、営業利益5億円/年、経常利益4億円/年の減益（増益）

■原油価格前提（下期）：105ドル/bbl.（前回予想から32ドル/bbl.上昇）
原油感応度（USD、概算）：中東情勢の緊迫化を受け精査中
（※2025年度業績予想における感応度は、$1/bbl.の上昇（下落）で、3億円/年の減益（増益）、メタノールへの影響は含まず）

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

2026年度 通期 業績予想

＜前回予想比＞

- 上期実績：PC等での着実な価格転嫁に加え、半導体向け薬液の販売数量増加、BT材料の価格改定効果の早期発現もあり営業利益は大幅増益。メタノール市況が上振れたため持分法利益も増加
- 下期予想：円高影響、原油価格やメタノール市況の高止まりや、電子材料等の堅調な販売により売上高及び各利益は前回予想を上回る見通し

	2026年度上期			2026年度下期			2026年度通期			下期(今回) - 上期実績 差異
単位：億円	前回予想*	実績	差異	前回予想	今回予想	差異	前回予想	今回予想	差異	
売上高	4,400	4,368	▲31	4,200	4,631	+431	8,600	9,000	+400	+262
営業利益	410	494	+84	300	315	+15	710	810	+100	▲179
持分法利益	34	66	+31	64	103	+39	98	169	+71	+37
経常利益	460	568	+108	330	391	+61	790	960	+170	▲177
親会社株主に帰属する当期純利益	310	354	+44	240	295	+55	550	650	+100	▲59

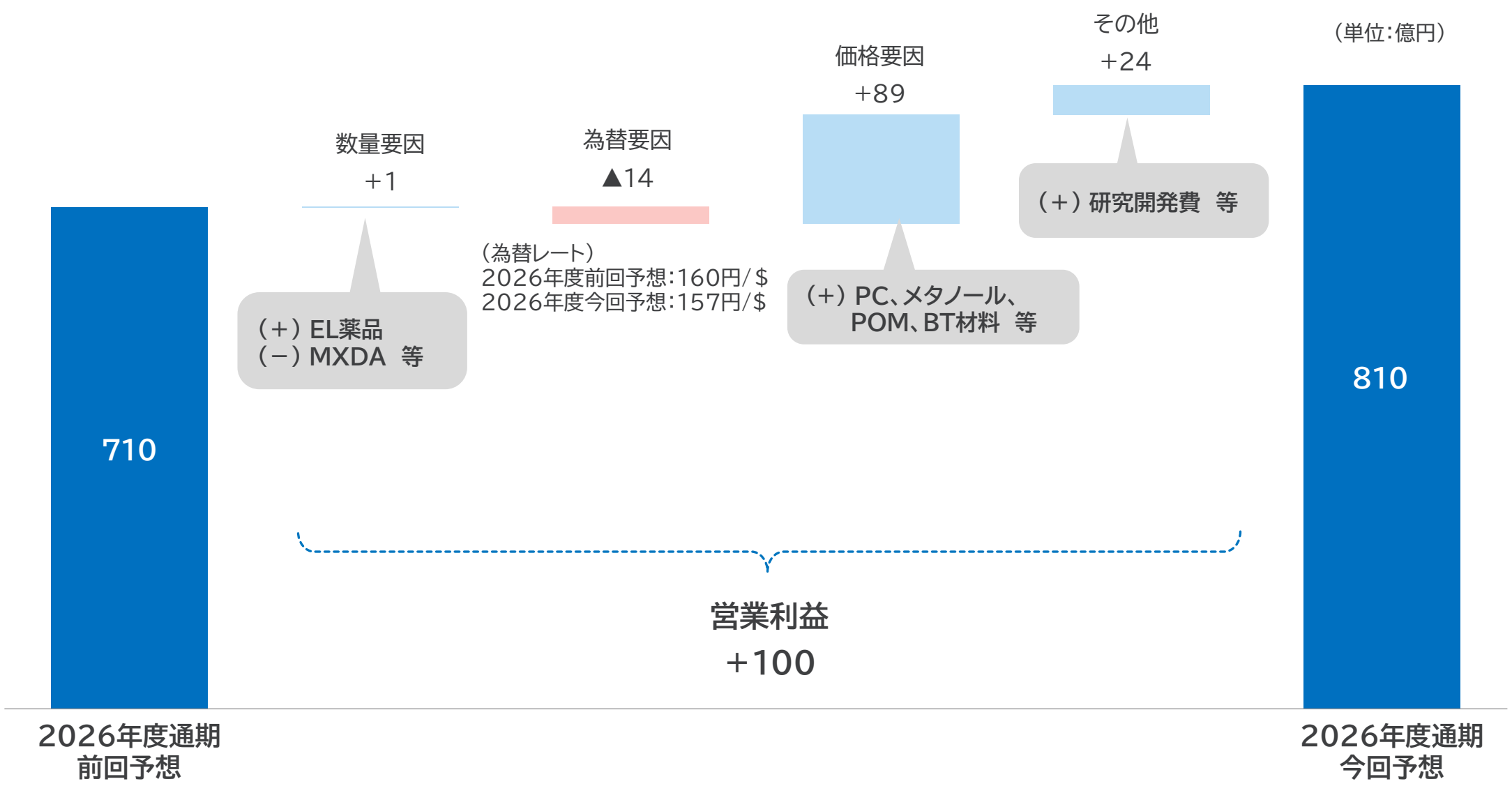
＊2026年8月7日公表

＜下期予想・上期実績比＞

- 電子材料や半導体向け薬液の販売は好調を継続するものの、定修等による固定費増加、在庫受払差等の剥落、円高影響等により下期は上期比で減益となる見通し

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

2026年度 通期 営業利益 増減要因(前回予想比)



©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

1 | 2026年度 上期 決算概要

2 | 2026年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

4 | トピックス 次期中計に向けて

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

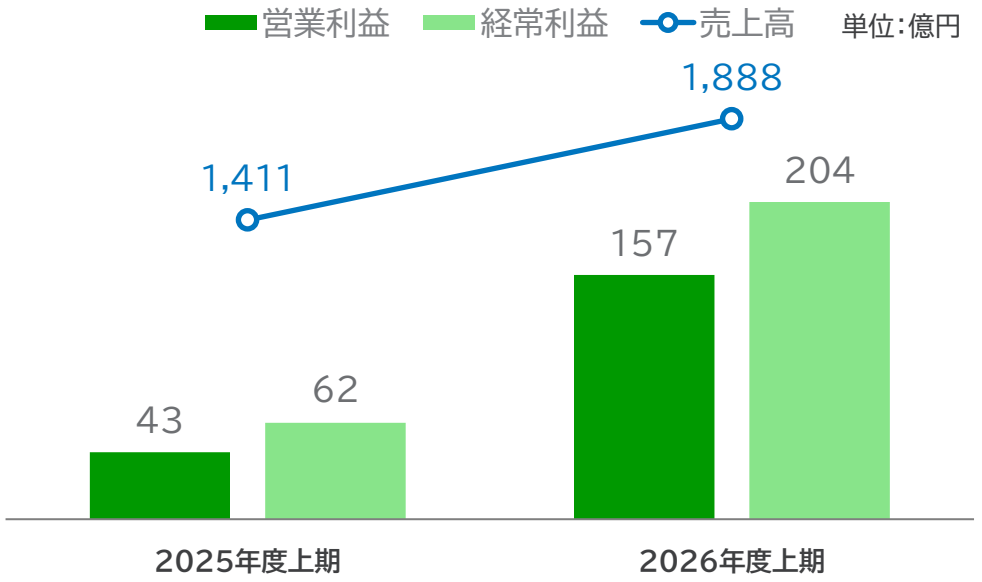
グリーン・エネルギー＆ケミカル

2026年度上期実績

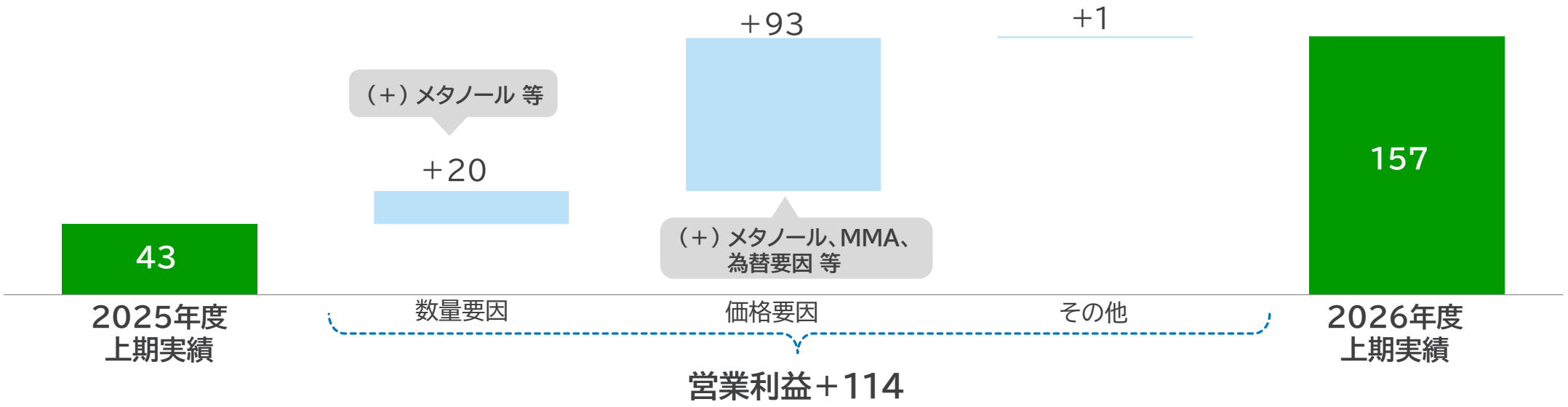
売上高：
メタノールの市況上昇や原材料コスト上昇分の価格転嫁、円安等により増収

営業利益：
上記に加え、メタノール及びその誘導品やキシレン分離における在庫受払差等の影響により増益

経常利益：
営業利益の増加と持分法利益の増加（JSPの増益やメタノール市況上昇）により増益



【営業利益差異要因】



©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

グリーン・エネルギー＆ケミカル

単位：億円	2025年度 上期実績	2026年度 上期実績	増減
売上高	1,411	**1,888**	＋476
天然ガス系化学品	1,045	**1,490**	＋444
芳香族化学品	368	**401**	＋33
調整	▲2	**▲3**	▲1
営業利益	43	**157**	＋113
天然ガス系化学品	30	**132**	＋101
芳香族化学品	12	**24**	＋11
調整	0	**0**	▲0
経常利益	62	**204**	＋142
天然ガス系化学品	40	**155**	＋115
芳香族化学品	22	**49**	＋27
調整	0	**▲0**	▲0

※ 内訳は、主要製品群別セグメントを記載

		2026年度上期実績 （2025年度上期実績比）	
天然ガス系化学品	メタノール	↗	中東情勢緊迫化に伴う市況上昇に加え、在庫受払差等の影響により増収増益（前期309ﾄﾞﾙ/MT→今期491ﾄﾞﾙ/MT）
	メタノール・ アンモニア系化学品	↗	原材料価格は上昇したものの、販売価格への転嫁が進んだことや、MMA系製品の販売数量増加などにより増収増益
	エネルギー資源・ 環境事業	→	原油の販売価格は上昇も、電力事業における電力販売量の減少により前年同期並み
芳香族化学品	MXDA*、 芳香族アルデヒド、 ポリマー材料 * 誘導品含む	↗	原燃料価格の上昇や顧客の在庫調整などによる芳香族アルデヒドの販売数量減少があるも、MXDAの欧州の需要回復やMXナイロンのPETボトル向け販売数量増加により増収増益
	キシレン分離/誘導品	↗	原燃料価格の上昇に合わせて販売価格が上昇、在庫受払差の影響もあり増収増益

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

グリーン・エネルギー＆ケミカル

単位：億円	2026年度 上期実績	2026年度 下期予想	増減
売上高	1,888	**1,956**	＋67
天然ガス系化学品	1,490	**1,529**	＋39
芳香族化学品	401	**429**	＋27
調整	▲3	**▲2**	＋1
営業利益	157	**13**	▲144
天然ガス系化学品	132	**17**	▲115
芳香族化学品	24	**▲4**	▲28
調整	0	**0**	＋0
経常利益	204	**84**	▲120
天然ガス系化学品	155	**88**	▲66
芳香族化学品	49	**▲4**	▲53
調整	▲0	**0**	＋0

※ 内訳は、主要製品群別セグメントを記載

		2026年度下期予想 （2026年度上期実績比）	
天然ガス系化学品	メタノール	↘	下期のメタノール市況は概ね上期並みを想定 （上期実績491ﾄﾞﾙ→下期予想500ﾄﾞﾙ） 在庫受払差等の剥落等により減益を見込む
	メタノール・ アンモニア系化学品	↘	在庫受払差等の剥落や下期に予定されている MMA系の定修等により減益を予想
	エネルギー資源・ 環境事業	↘	発電用LNG販売による増収はあるも、ヨウ素 事業の固定費増加等により減益を見込む
芳香族化学品	MXDA*、 芳香族アルデヒド、 ポリマー材料 * 誘導品含む	↘	芳香族アルデヒドの販売数量回復等を見込む ものの、定修による固定費増加により減益を 予想
	キシレン分離/誘導品	↘	定修による固定費増加により減益を見込む

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

機能化学品

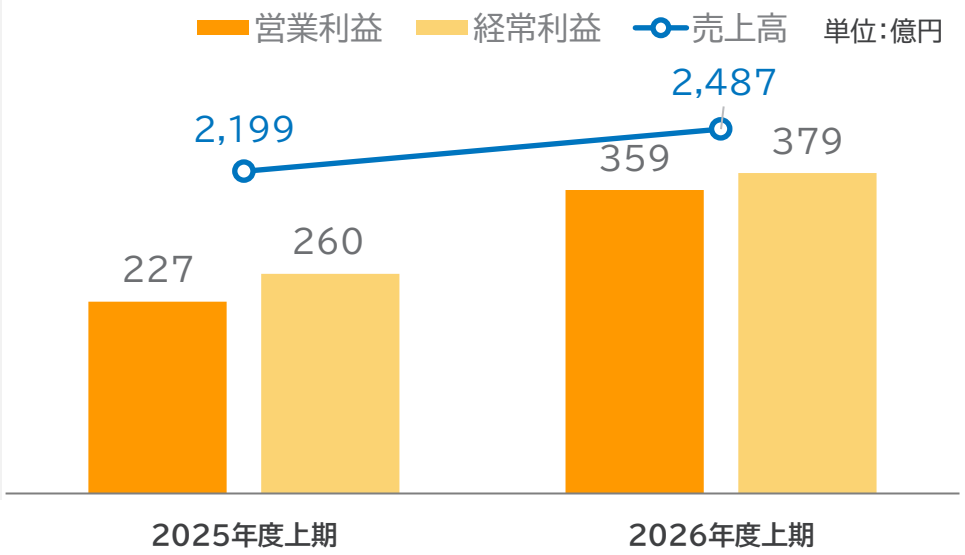
2026年度上期実績

売上高:

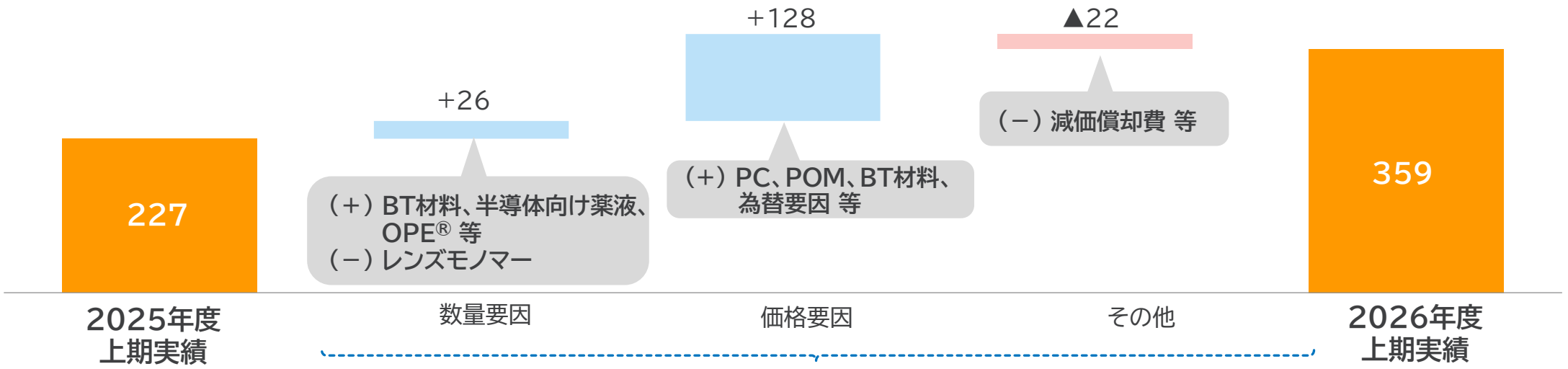
電子材料や半導体向け薬液の販売数量の増加に加え、エンジニアリングプラスチックスにおける原材料コスト上昇の販売価格転嫁への取組み、円安等により増収

営業利益:

上記に加え、エンジニアリングプラスチックスにおける在庫受払差等の影響での損益改善、前期計上した減損損失による償却費減少等もあり、増益



【営業利益差異要因】



©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

機能化学品

単位:億円	2025年度 上期実績	2026年度 上期実績	増減
売上高	2,199	**2,487**	+ 288
機能化学品	1,740	**1,926**	+ 186
特殊機能材	459	**560**	+ 101
調整	▲ 0	**▲ 0**	+ 0
営業利益	227	**359**	+ 131
機能化学品	127	**208**	+ 80
特殊機能材	99	**150**	+ 51
調整	0	**▲ 0**	▲ 0
経常利益	260	**379**	+ 118
機能化学品	147	**224**	+ 76
特殊機能材	112	**155**	+ 42
調整	0	**▲ 0**	▲ 0

※ 内訳は、主要製品群別セグメントを記載

		2026年度上期実績 (2025年度上期実績比)	
機能化学品	無機化学品	↗	半導体向け薬液の市場拡大に伴う販売数量増加に加え、前期末に計上した減損損失による償却費減少等により増収増益
	エンジニアリングプラスチックス	↗	原材料価格は上昇したものの、販売価格の転嫁や在庫受払差等の影響により、増収増益
	光学材料	↘	光学樹脂ポリマーの主用途であるスマートフォン用カメラレンズ向けの販売は堅調に推移したものの、眼鏡向けレンズモノマーの生産トラブルの影響などにより減収減益
特殊機能材	電子材料	↗	半導体パッケージ用BT材料において、市場拡大に伴う販売数量の増加や価格改定等による販売単価の上昇に加え、AIサーバー向け基板材料OPE®も販売数量が増加し、増収増益
	生活衛生ソリューションズ	↗	脱酸素剤において輸出数量増加等により増収増益

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

機能化学品

単位:億円	2026年度 上期実績	2026年度 下期予想	増減
売上高	2,487	**2,615**	+ 128
機能化学品	1,926	**2,041**	+ 114
特殊機能材	560	**573**	+ 13
調整	▲ 0	**▲ 0**	▲ 0
営業利益	359	**323**	▲ 35
機能化学品	208	**171**	▲ 36
特殊機能材	150	**152**	+ 1
調整	▲ 0	**0**	+ 0
経常利益	379	**321**	▲ 57
機能化学品	224	**163**	▲ 60
特殊機能材	155	**157**	+ 2
調整	▲ 0	**0**	+ 0

※ 内訳は、主要製品群別セグメントを記載

		2026年度下期予想 （2026年度上期実績比）	
機能化学品	無機化学品	→	北米での新プラント稼働に伴う固定費の増加等はあるものの、半導体向け薬液の販売は伸長し、上期並みの損益を見込む
	エンジニアリングプラスチックス	↘	国内拠点における固定費負担増、タイ拠点での定修などにより減益を見込む
	光学材料	→	光学樹脂ポリマーは堅調な販売が継続、レンズモノマーは新プラント稼働開始に伴う固定費増加があるものの、既存プラントのトラブル解消影響も含め販売数量が増加するため、上期並みの損益を見込む
特殊機能材	電子材料	↗	BT材料はスマートフォン向け等が減速も価格改定による販売単価上昇や新規用途での拡販を見込む。OPE®もAIサーバー向けの販売数量増加を見込み、両製品とも増益の見通し
	生活衛生ソリューションズ	→	脱酸素剤の販売は引き続き堅調で上期並みの損益を見込む

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

1 | 2026年度 上期 決算概要

2 | 2026年度 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

4 | トピックス 次期中計に向けて

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

現中期経営計画(Grow UP 2026)の進捗状況

- 営業利益・EBITDAを除き、各計画値は概ね達成見込み。一方、成長投資による収益貢献が十分実現出来ていない点が課題
- 重点管理事業を中心とした構造改革や非事業用資産の売却を通じ、事業ポートフォリオの強靭化および資本効率改善を推進
- 2026年度は中東情勢緊迫化による市況上昇等が業績を下支えも、市況による業績ボラティリティの高さを認識

	Grow UP 2026			2026年度 計画との差異 (A)-(B)
	2023年度 実績	2026年度 11月業績予想 (A)	2026年度 計画 (B)	
売上高	8,134億円	9,000億円	8,500億円	+500億円
営業利益	473億円	810億円	850億円	▲40億円
営業利益率	5.8%	9.0%	10%以上	▲1.0pp
経常利益	460億円	960億円	950億円	+10億円
EBITDA	849億円	1,405億円	1,500億円	▲94億円
ROE	6.1%	9.8%	9%以上	+0.8pp
ROIC	3.3%	8.2%	8%以上	+0.2pp

主な取り組み・現状認識

- ✓ U&P事業を中心に積極投資を推進も、EL薬品を中心に、大型投資の収益貢献に遅れ
- ✓ 電子材料は過去最高益を更新、光学材料も伸長
- ✓ 採算性が課題となっていたPC系事業の生産拠点集約、OX系チェーンからの撤退を決定。事業環境が悪化した欧州MXDAプロジェクトの中止を決断。これらに伴い減損損失も計上
- ✓ MGC戦略研究領域(モビリティ、ICT、医・食)を中心に、研究開発を強化

次期中期経営計画では、
経営資源の重点配分と大型投資の成果刈り取りを進め、
営業利益率や資本効率(ROIC・ROE)の更なる改善を目指す

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

次期中期経営計画のコンセプト

– 大きな変革の時代に、当社グループ自らが変革(Transform)する姿勢を示すため、
次期中計タイトルを **Transform × UP* 2030** に設定

*「U&P」:特色・存在感のある製品(高い参入障壁、代替困難性、強い顧客基盤・高シェア等) ⇒ 当社が競争優位性を発揮し、顧客が認める付加価値を価格に反映できる製品

- ✓ 2040年に想定される事業環境からバックキャストで次期中計を策定
- ✓ 当社のビジョンに込めた「特色と存在感:Uniqueness & Presence(U&P)」を次期中計でも引き続き重視
- ✓ 中計期間は2027年度～2030年度の4年間(事業環境の変化に機動的に対応するため、中間地点の2028年度末に進捗を検証し、必要に応じて計画を見直し)

2040年に想定される事業環境の変化

当社グループを取り巻く環境は大きな変革期を迎えると想定

ブロック経済化の定着と供給網の分断



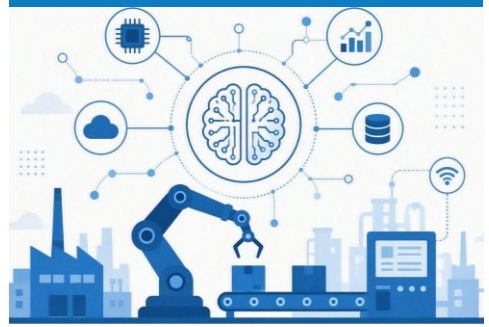
新興企業の台頭による競争環境の変化



カーボンニュートラルと経済的価値の両立への要請



AI・デジタル化による生産性の劇的な向上



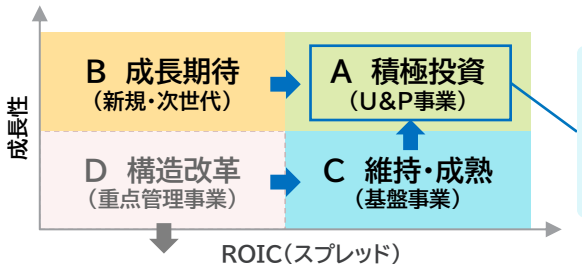
©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

事業ポートフォリオ変革の断行①

- 「成長性×ROIC」の4象限で事業を区分し、「勝てる」領域へ経営資源（ヒト、モノ、カネ）を重点配分
- 社会や顧客の潜在的なニーズを起点に研究開発を進める、マーケットアウト型の「真の研究開発型企業」へ転換

施策1「Uniqueness & Presence」の追求

- ✓ 事業区分は「成長性×ROIC」の定量評価に基づき判定
- ✓ 「率」の重視と厳格な4象限管理、データドリブン経営で、ROE・ROICを改善
- ✓ オーガニック投資だけでなく、M&A等のインオーガニック投資も案件厳選の上で実行し、収益規模を拡大
- ✓ 重点管理事業（PC系、キシレン分離/誘導品）はさらなる構造改革を実行



A象限（U&P事業）の中でも、中長期的に高成長が期待でき、優位性を持つ**「AI・半導体」**を**重点注力領域**に位置付け

施策2「真の研究開発型企業」への転換

マーケットアウト型の「真の研究開発型企業」

- **自社技術にこだわるだけでなく、社会や顧客の潜在的なニーズを起点に研究開発を行う**
- **顧客と共に新しい市場を創る姿勢を持つ**
- **自社で守るべきコア技術の見極めを行い“ワンオブゼム”に陥らない独自性と存在感を追求する**

- ✓ 非連続的イノベーション：ありたい姿からバックキャストし、既存の延長線上にない解決策を顧客に提案
- ✓ DX・AI活用：業務効率化で生んだ時間を、顧客との対話に振り向ける

施策3「攻めのガバナンス」の強化

- ✓ コーポレートガバナンス・コード改訂も踏まえ、「守り」に加えて「攻め」の機能を強化し、企業価値を向上
- ✓ 投資規律の強化・投資実行力の向上により、大型投資の収益貢献を確実にする
- ✓ 迅速・果断な意思決定で施策1・2の実効性を高め、事業ポートフォリオ変革を断行

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

事業ポートフォリオ変革の断行②

- AI需要を背景に次期中計期間（～2030年）も高成長が見込まれる半導体市場を見据え、当社が競争優位性を発揮できる「AI・半導体」分野に経営資源を重点配分
- 時間軸と事業分野の両面でポートフォリオを最適化し、景気変動や地政学リスクへの耐性を高め、持続的・安定的な成長を目指す

短期
収益基盤の維持・拡大

中長期
新たな成長の柱の育成 / 経済的価値と社会的価値の両立

AI・半導体（重点注力領域）
原材料の安定調達と需要に応じた生産体制の整備により、強固な事業基盤を確立

モビリティ・XR
SDV*化やロボティクスの進展が好機。マーケットアウト型の事業展開で高機能化に貢献
*Software Defined Vehicle

AI・半導体 Transform × UP 2030での取り組み（予定）



- BT材料は、FC-BGA用途を中心にさらなる拡販を推進 機を捉え、追加の増産投資も検討
- OPE®の生産能力増強により、AI関連需要を取り込み
- 次世代材料の開発に向け、研究開発資源を重点配分



- 先行投資した生産設備の稼働率を高め、収益貢献を本格化
- 各地域に応じた戦略の見直しにより、収益性・ROICを改善

メディカル・ヘルステック
外部連携等でコア技術の適用領域を拡大
- 診断/医療包材/バイオ医薬等

エネルギー・気候変動
他社との協業を通じ、社会実装と事業化を目指す
- 環境循環型プラットフォーム「Carbopath™」/メタノールの本格展開
- カーボンニュートラルに向けた取り組み/地熱発電

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

Appendix

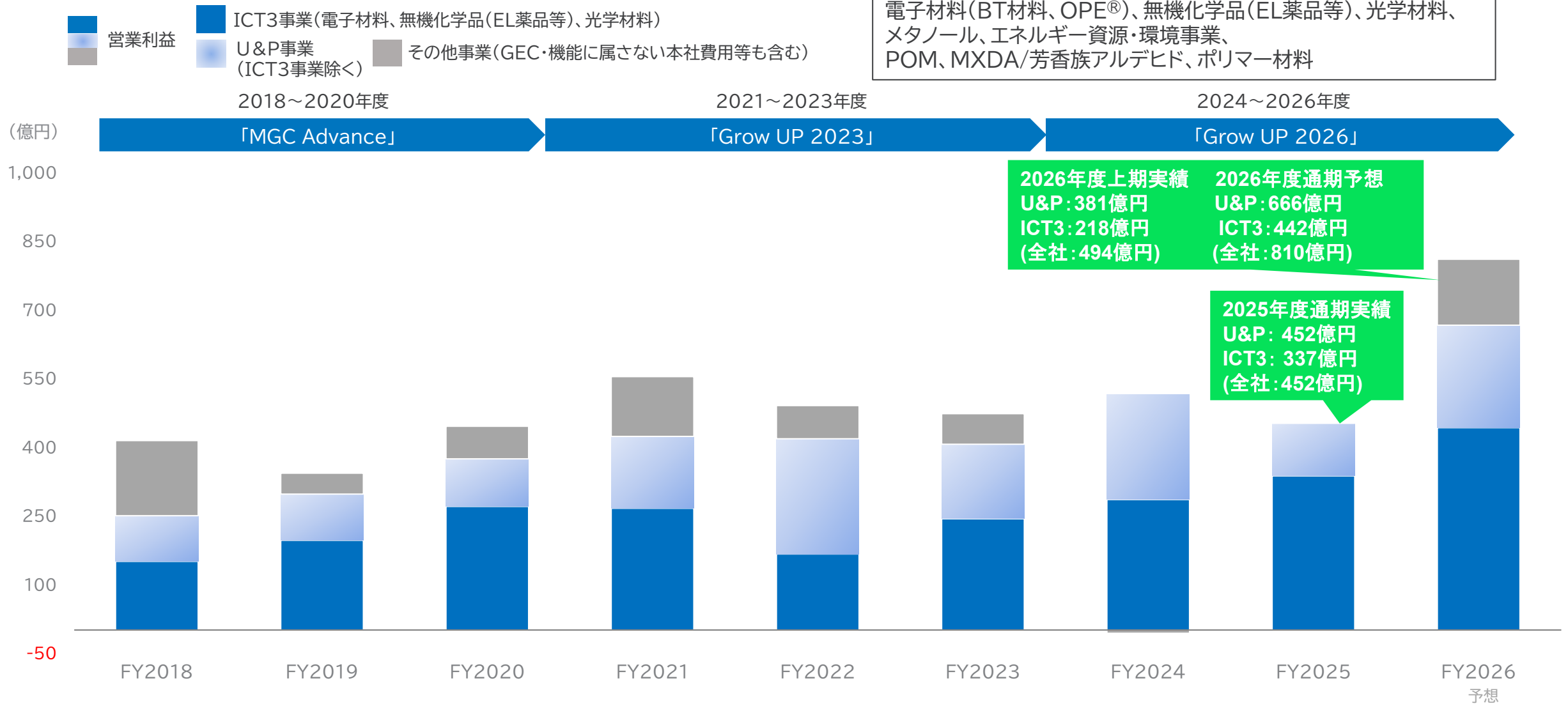
©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

ICT3事業・U&P事業(Uniqueness & Presence)の営業利益推移

– 成長ドライバーであるICT3事業を中心に、現中計期間に再拡大

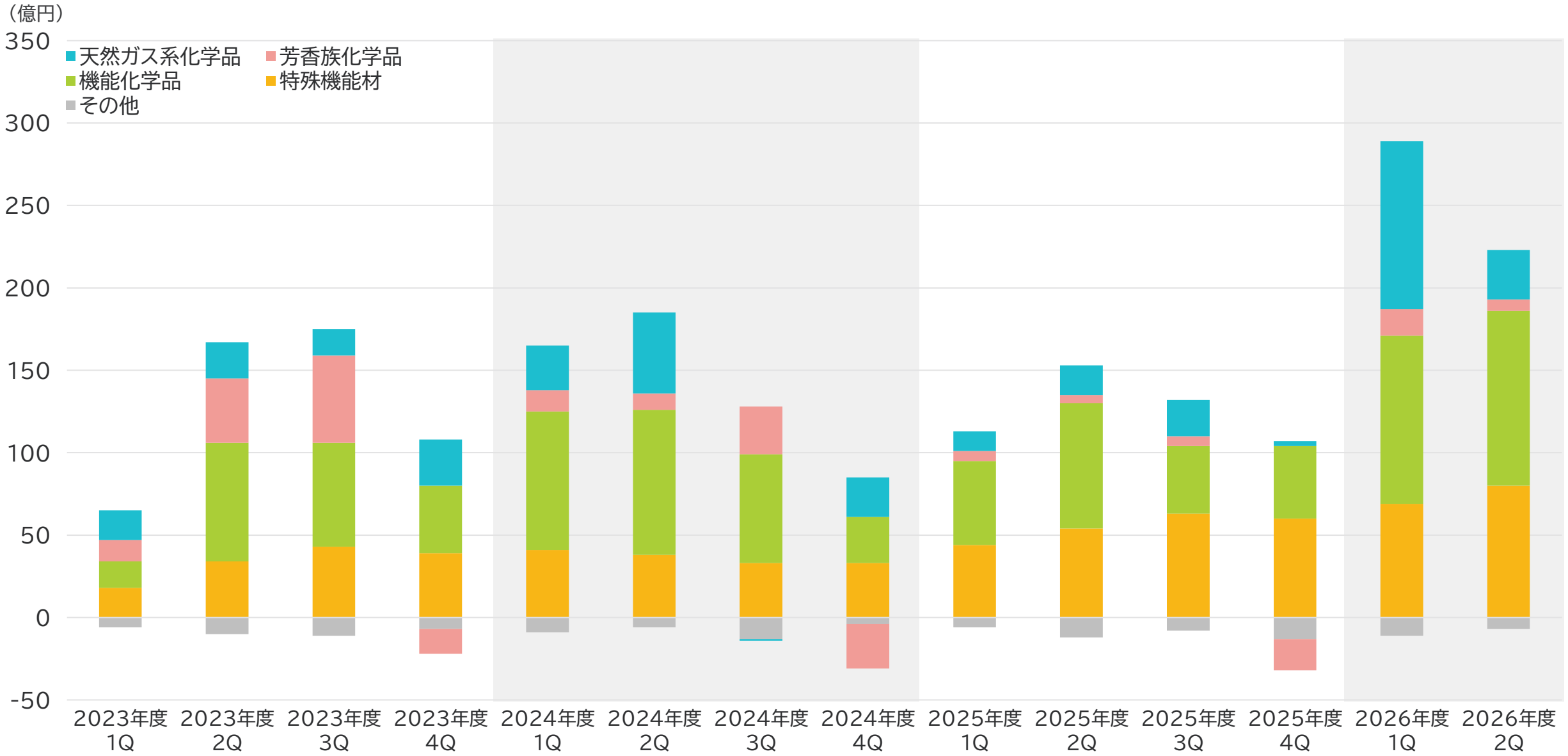
U&P事業：中計「GrowUP2026」において経営資源を優先的に配分すべきと評価した以下の事業

電子材料（BT材料、OPE®）、無機化学品（EL薬品等）、光学材料、メタノール、エネルギー資源・環境事業、POM、MXDA/芳香族アルデヒド、ポリマー材料



©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

主要製品群別 営業利益推移



※ 便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

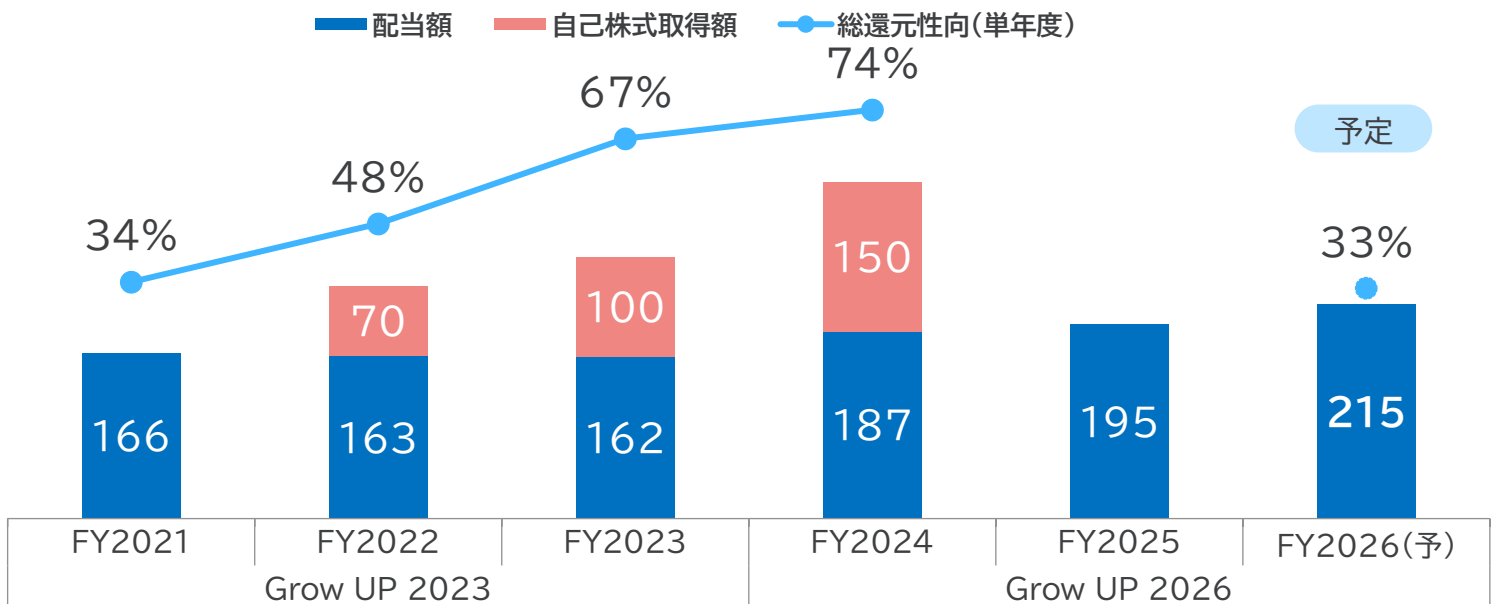
©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

資本政策/株主還元

- 現中計「Grow UP 2026」での還元方針は、**累進配当方針、総還元性向 50%目安、DOE(自己資本配当率)目標値 3%**
- 中計最終年度の2026年度も、上記方針に基づき**年間10円の増配を予定**。今後も積極的に株主還元に取り組んでいく

2026年度の年間配当金は110円を予定(普通配当ベースで年間10円の増配)

(単位:億円)



	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026(予)
当期純利益	482	490	388	455	▲403	650
年間配当金(円/株)	80*	80	80	95	100	110

＊ 記念配当10円を含む

累進配当方針

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

セグメント別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移

単位:億円	2025年度(実績)			2026年度(前回予想)*			2026年度(実績/今回予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期(予)	通期(予)
売上高	3,616	3,765	7,382	4,400	4,200	8,600	4,368	4,631	9,000
GEC	1,411	1,458	2,869	1,918	1,681	3,599	1,888	1,956	3,844
機能化学品	2,199	2,284	4,483	2,474	2,498	4,972	2,487	2,615	5,102
全社/調整	6	23	29	7	19	27	▲ 6	59	53
営業利益	251	201	452	410	300	710	494	315	810
GEC	43	12	56	128	53	181	157	13	170
機能化学品	227	210	438	307	270	578	359	323	682
全社/調整	▲ 19	▲ 22	▲ 41	▲ 26	▲ 23	▲ 49	▲ 21	▲ 21	▲ 43
経常利益	314	204	519	460	330	790	568	391	960
GEC	62	▲ 23	38	147	81	228	204	84	289
機能化学品	260	230	491	326	270	597	379	321	701
全社/調整	▲ 7	▲ 2	▲ 10	▲ 14	▲ 21	▲ 36	▲ 15	▲ 15	▲ 30

＊2026年8月7日公表

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

セグメント別　2025年度及び2026年度　四半期別推移

単位:億円	2025年度(実績)				2026年度(実績)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	1,779	1,837	1,877	1,887	**2,237**	**2,131**
GEC	682	728	755	702	**998**	**890**
機能化学品	1,089	1,110	1,120	1,163	**1,228**	**1,259**
全社/調整	8	▲1	2	21	**10**	**▲17**
営業利益	109	141	126	74	**278**	**216**
GEC	19	23	29	▲16	**119**	**38**
機能化学品	96	130	105	104	**171**	**187**
全社/調整	▲6	▲12	▲8	▲13	**▲12**	**▲9**
経常利益	138	176	166	37	**291**	**276**
GEC	39	23	31	▲55	**116**	**88**
機能化学品	99	160	126	104	**179**	**200**
全社/調整	▲0	▲7	9	▲11	**▲3**	**▲11**

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

主要製品群別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移

単位:億円	2025年度(実績)			2026年度(前回予想)*			2026年度(実績/今回予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期(予)	通期(予)
売上高	3,616	3,765	7,382	4,400	4,200	8,600	4,368	4,631	9,000
天然ガス系化学品	1,045	1,089	2,135	1,508	1,268	2,776	1,490	1,529	3,019
芳香族化学品	368	370	738	412	415	828	401	429	830
機能化学品	1,740	1,768	3,508	1,908	1,922	3,830	1,926	2,041	3,968
特殊機能材	459	516	975	565	576	1,141	560	573	1,134
全社/調整	3	20	24	4	17	22	▲ 10	56	46
営業利益	251	201	452	410	300	710	494	315	810
天然ガス系化学品	30	26	57	105	47	153	132	17	149
芳香族化学品	12	▲ 13	▲ 0	22	5	28	24	▲ 4	20
機能化学品	127	86	213	166	124	291	208	171	380
特殊機能材	99	124	224	140	146	287	150	152	302
全社/調整	▲ 19	▲ 21	▲ 41	▲ 26	▲ 23	▲ 49	▲ 21	▲ 21	▲ 42
経常利益	314	204	519	460	330	790	568	391	960
天然ガス系化学品	40	▲ 23	16	100	78	178	155	88	243
芳香族化学品	22	▲ 0	22	47	2	50	49	▲ 4	45
機能化学品	147	93	241	181	120	302	224	163	388
特殊機能材	112	136	249	144	150	295	155	157	312
全社/調整	▲ 7	▲ 2	▲ 10	▲ 14	▲ 21	▲ 36	▲ 15	▲ 15	▲ 30

※ 便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

＊2026年8月7日公表

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

主要製品群別　2025年度及び2026年度　四半期別推移

単位：億円	2025年度（実績）				2026年度（実績）	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	1,779	1,837	1,877	1,887	**2,237**	**2,131**
天然ガス系化学品	498	546	567	522	**792**	**697**
芳香族化学品	185	183	188	182	**206**	**194**
機能化学品	869	870	860	907	**956**	**970**
特殊機能材	219	239	260	255	**272**	**288**
全社/調整	6	▲ 3	0	19	**9**	**▲ 19**
営業利益	109	141	126	74	**278**	**216**
天然ガス系化学品	12	18	22	3	**102**	**30**
芳香族化学品	6	5	6	▲ 19	**16**	**7**
機能化学品	51	76	41	44	**102**	**106**
特殊機能材	44	54	63	60	**69**	**80**
全社/調整	▲ 6	▲ 12	▲ 8	▲ 13	**▲ 12**	**▲ 8**
経常利益	138	176	166	37	**291**	**276**
天然ガス系化学品	30	10	13	▲ 37	**89**	**65**
芳香族化学品	8	13	17	▲ 18	**26**	**22**
機能化学品	47	100	48	45	**105**	**119**
特殊機能材	52	60	77	59	**73**	**81**
全社/調整	▲ 0	▲ 7	9	▲ 11	**▲ 3**	**▲ 11**

※ 便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

2026年度 上期 貸借対照表

単位:億円	2026年3月末	2026年9月末	増 減
流動資産	4,504	**4,767**	+ 262
現預金	689	**619**	▲ 70
売掛債権	1,495	**1,625**	+ 129
棚卸資産	2,069	**2,289**	+ 219
その他	249	**233**	▲ 16
固定資産	6,625	**6,830**	+ 204
有形固定資産	3,343	**3,442**	+ 99
無形固定資産	235	**223**	▲ 12
投資その他の資産	3,046	**3,163**	+ 117
資産合計	11,130	**11,597**	+ 467

単位:億円	2026年3月末	2026年9月末	増 減
負債	4,334	**4,454**	+ 119
買掛債務	919	**1,074**	+ 155
有利子負債	2,292	**2,258**	▲ 33
その他	1,122	**1,120**	▲ 1
純資産	6,795	**7,143**	+ 347
株主資本	5,412	**5,694**	+ 281
その他包括利益累計額	1,051	**1,089**	+ 37
非支配株主持分	331	**359**	+ 27
負債・純資産合計	11,130	**11,597**	+ 467

自己資本比率　58.5%（2026年9月末時点）

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

2026年度 上期 キャッシュフロー計算書

単位：億円	2025年度 上期	2026年度 上期	増　減
営業キャッシュフロー	298	336	+38
投資キャッシュフロー	▲399	▲276	+123
フリーキャッシュフロー（差引）	▲100	60	+161
財務キャッシュフロー	32	▲199	▲231
現金及び現金同等物に係る換算差額等	▲3	21	+24
現金及び現金同等物の増減額（合計）	▲71	▲116	▲45
現金及び現金同等物の期首残高	569	590	+21
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	17	+17
現金及び現金同等物の四半期末残高	498	491	▲6

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

各種指標（1）

単位：億円

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度（予）
設備投資額 [上期]	309 [139]	392 [186]	423 [224]	402 [158]	547 [220]	646 [312]	817 [380]	887 [397]	719 [415]	610 [311]
減価償却費 [上期]	270 [131]	274 [135]	295 [144]	306 [151]	319 [158]	335 [161]	363 [183]	346 [168]	382 [185]	400 [190]
研究開発費 [上期]	189 [95]	186 [91]	196 [94]	199 [98]	210 [101]	235 [111]	256 [126]	261 [127]	266 [124]	290 [130]
年度末人員（人）	8,009	8,276	8,954	8,998	9,888	10,050	7,918	8,146	8,319	8,448
EBITDA*1	1,088	976	616	817	1,070	1,050	849	973	928	1,405
U&P事業 営業利益	314	250	297	374	423	418	406	515	452	666
ROE（自己資本当期利益率）（%）	13.6	11.3	4.3	7.1	8.8	8.3	6.1	6.9	-	9.8
ROIC（投下資本利益率）*2（%）	12.1	9.5	3.6	6.2	7.4	6.4	3.3	6.4	3.2	8.2
売上高営業利益率（%）	9.9	6.4	5.6	7.5	7.8	6.3	5.8	6.6	6.1	9.0
一株当たり当期純利益（円/株）	281.39	257.46	100.50	173.41	232.15	239.08	190.97	228.93	▲207.04	333.32
一株当たり配当金（円/株） [うち中間配当]	59.00 [24.00]	70.00 [35.00]	70.00 [35.00]	70.00 [35.00]	80.00*3 [45.00*3]	80.00 [40.00]	80.00 [40.00]	95.00 [45.00]	100.00 [50.00]	110.00 [55.00]
総還元性向（%）	32.5	27.2	111.4	40.4	34.5	47.9	67.5	74.1	-	33.0

＊1 EBITDA＝経常利益＋減価償却費＋支払利息　＊2 ROIC＝（営業利益－法人税等＋持分法損益）/投下資本　＊3 記念配当10円を含む

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

各種指標（2） セグメント別 設備投資額・減価償却費（連結）

単位:億円		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
設備投資額*	天然ガス系化学品	90	60	57	72	GEC	197	192	320	370	349	246
	芳香族化学品	105	113	146	150							
	機能化学品	81	110	144	146	機能化学品	186	326	286	419	500	425
	特殊機能材	66	19	23	26							
	その他	5	6	21	27	その他	18	29	39	27	37	47
	合計	**350**	**309**	**392**	**423**	**合計**	**402**	**547**	**646**	**817**	**887**	**719**
減価償却費	天然ガス系化学品	50	51	55	63	GEC	164	171	179	173	137	132
	芳香族化学品	85	85	87	95							
	機能化学品	86	91	87	87	機能化学品	130	130	137	168	185	225
	特殊機能材	30	35	36	38							
	その他	3	5	8	10	その他	11	17	18	20	24	25
	合計	**256**	**270**	**274**	**295**	**合計**	**306**	**319**	**335**	**363**	**346**	**382**

＊固定資産計上ベース

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

各種指標（3）

	2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		2026年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期予想
為替(JPY/USD)	134	137	141	148	153	152	146	156	159	155
為替(JPY/EUR)	139	143	153	160	166	162	168	182	184	175
原油価格(Dubai) (USD/bbl.)	102	83	82	82	82	75	69	75	95	105
メタノール（USD/MT） アジアスポット平均価格	375	351	297	324	333	335	309	324	491	500
原料キシレン(USD/MT)	1,105	925	960	910	885	750	695	770	1,000	1,110
ビスフェノールA (USD/MT)*	1,450 ～2,200	1,250 ～1,700	1,150 ～1,400	1,250 ～1,350	1,250 ～1,350	1,200 ～1,350	1,100 ～1,250	1,050 ～1,700	1,250 ～1,750	1,400 ～1,600
ポリカーボネート (USD/MT)*	1,950 ～2,900	1,800 ～2,200	1,650 ～1,900	1,700 ～1,900	1,750 ～1,900	1,600 ～1,800	1,500 ～1,650	1,500 ～2,350	1,800 ～2,450	1,950 ～2,150

＊ 期間中の最小値及び最大値を記載

感応度(概算)

為替(USD)　：1円の円高(円安)で、営業利益5億円/年、経常利益4億円/年の減益(増益)
為替(EUR)　：1円の円高(円安)で、営業利益1億円/年、経常利益1億円/年の減益(増益)
原油(Dubai)　：中東情勢緊迫を受け、改めて精査中　(※2025年度業績予想における感応度は、＄1/bbl.の上昇(下落)で、3億円/年の減益(増益)、メタノールへの影響は含まず)
メタノール　：メタノール市況＄1/MTの上昇(下落)で、持分法利益1億円/年の増益(減益)

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

主要製品群別 連結 売上高・営業利益・経常利益長期推移

単位:億円		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026(予)
全社	売上高	6,489	6,133	5,957	7,056	7,812	8,134	7,735	7,382	9,000
	営業利益	413	342	445	553	490	473	508	452	810
	経常利益	691	311	502	741	697	460	603	519	960
天然ガス系化学品	売上高	1,883	1,637	1,582	2,262	2,471	2,155	2,329	2,135	3,019
	営業利益	33	1	9	97	88	85	100	57	149
	経常利益	226	▲57	26	140	201	0	155	16	243
芳香族化学品	売上高	2,117	2,011	1,834	2,028	2,357	2,006	912	738	830
	営業利益	146	111	117	160	98	91	26	▲ 0	20
	経常利益	139	104	116	160	103	101	49	22	45
機能化学品	売上高	2,057	2,020	2,074	2,141	2,489	3,452	3,706	3,508	3,968
	営業利益	212	199	228	174	241	194	266	213	380
	経常利益	282	223	255	276	281	234	279	241	388
特殊機能材	売上高	519	548	623	715	602	640	735	975	1,134
	営業利益	39	56	119	161	84	136	146	224	302
	経常利益	44	58	119	178	106	151	159	249	312

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

世界で戦える独自性のある製品(U&P事業)

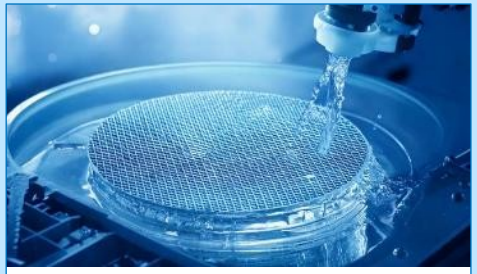
- 「伸びる」「勝てる」「サステナブル」の観点で優れ、社会的価値と経済的価値を両立して持続的に成長できる事業(差異化事業)を「Uniqueness & Presence事業」と定義
- Uniqueness & Presence(U&P)事業は当社全体の利益成長を牽引
- とりわけ、半導体関連製品(BT材料、超純過酸化水素)やスマホカメラ向けレンズ材料(光学樹脂ポリマー)といったICT3事業が成長ドライバー

Uniqueness & Presence事業

成長ドライバー
ICT3事業
(半導体・スマホ向け)



BT材料(半導体パッケージ基板材料)
世界シェア 1位



超純過酸化水素(半導体洗浄液)
世界シェア 1位



光学樹脂ポリマー
世界シェア 1位*1



ポリアセタール(POM)
世界シェア 3位



メタノール
生産能力 世界3位*2



メタキシレンジアミン(MXDA)
世界シェア 1位



MXナイロン
世界シェア 1位



芳香族アルデヒド
世界シェア 1位

*1 高屈折樹脂として
*2 当社技術を用いた関係会社の総計(2025年度)

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

各報告セグメントの主要製品

報告セグメント	主要製品群	主要製品
グリーン・エネルギー＆ケミカル	天然ガス系化学品	・メタノール ・メタノール/アンモニア系化学品(アンモニア・アミン類、 MMA系製品、ホルマリン・ポリオール系製品等) ・エネルギー資源・環境事業
	芳香族化学品	・MXDA、芳香族アルデヒド、ポリマー材料(MXナイロン等) ・キシレン分離/誘導品(メタキシレン、高純度イソフタル酸 (PIA)等)
機能化学品	機能化学品	・無機化学品(EL薬品(超純過酸化水素、ハイブリッドケミカル)、過酸化水素等) ・エンジニアリングプラスチックス(ポリカーボネート/シートフィルム、ポリアセタール等) ・光学材料(光学樹脂ポリマー、超高屈折率レンズモノマー等)
	特殊機能材	・電子材料(半導体パッケージ用BT材料、OPE®等) ・生活衛生ソリューションズ製品(脱酸素剤:エージレス®、環境衛生薬品:ダイヤパワー等)

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

今後のIRイベント

- 2026年度第3四半期 決算発表
  2027年2月10日(水) 15:30

- 2026年度第3四半期 アナリスト・機関投資家向け 決算説明会
  2027年2月10日(水)　時間未定

※上記予定は都合により、予告なく変更となる可能性があります。

©MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている計画、目標等の将来に関する記述は、作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、不確実性を内包するものです。実際の業績等は、様々な要因によりこうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社
CSR・IR部　IRグループ

TEL　03-3283-5041

URL　https://www.mgc.co.jp/

IRメール配信サービス

適時開示やIRに関する最新情報について、
メールでお知らせいたします。ぜひご登録ください。

